

緊急事態宣言の中で活動を工夫して…

★マスク、換気、手洗いなどを徹底して活動



換気の徹底…

5月12日に出された緊急事態宣言(延長の空気も…)によって学校内でも、今まで以上に気を引き締めて学習活動を行う状況が続いています。音楽や家庭科の授業は制限や条件(リコーダーや鍵盤ハーモニカの演奏はしない…グループで一斉に密になって調理実習をしない…等)があり、その他の教科などもかなりの工夫が必要となっています。しかし反対に子どもにとっての関心や興味、また意欲が高くなるような行事や学習は可能な限り工夫して実施していくといった連絡(文科省)もあります。いずれにせよこの現状を乗り越えるために学校や地域ができることしっかりとやるしかありません。

P T A活動にもさまざまにご協力をいただいています。みんなでがんばりましょう。

★タブレットの授業、活用は少しずつ…

本年度、子ども一人一人に渡されているタブレットは少しずつ授業に活用できるようになってきました。渡されているとはいえ、使えるための「環境づくり」(初期設定や使い方など)は大切な一歩です。先ずはこの「環境づくり」を教職員一丸となって行っているところです。流れとしては効果的な活用を各学



自分の動きをチェックする…

年試みながら、学習内容に準じて徐々に全学年に広げていきます。それでも子ども達のタブレットを使いこなす学習スピードは速いと感じます。すぐに学習の道具として使いこなすことになっていくでしょう。ただし、さまざまなモラルも同時に学ぶ必要があります。学校内ではじっくりと取り組みを進めていきます。



自分のペースで学習を進める…

お知らせ

- ・5/27 全国学力・学習状況調査があります。(6年)もっている力は発揮しましょう!
- ・5/28 プール掃除は延期しています。(5年)緊急事態宣言で6月の水泳授業にも影響が出てきます…

心の内から出たお礼

朝、交差点に立っている時、ある学年の女の子が

「1年生の女の子が途中の道で泣いていました…」

とのこと。遠くに同じ登校班なのか(その子のお姉ちゃんなのか…)他の上級生(5,6年生なのか…)と出会わせた保育園の先生に後押しされながら何とか歩いてくる1年生が見えました。その1年生は時折泣いたりぐずったりです。そばにいた上級生達も彼女のペースに合わせて歩いたり止まったりの繰り返しです。交差点の所まで来ると保育園の先生はもう大丈夫と思って



「よろしくお願いします!」

と私にあいさつをして帰ろうとしたその時です。一人の上級生が保育園の先生に

「ありがとうございました」

と丁寧に礼を言いました。自分が迷惑をかけた訳ではないのに相手を気遣い、とてもさりげなくまたスマートに出たお礼にちょっと驚き、同時に嬉しい気持ちにもなりました…やさしさとはこういうものだろう…心の内から出た言葉に、その上級生達の心の豊かさとの一連の行為の価値を感じたものでした。これもプラス1にちがいない…